

別紙

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和5年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	11		13.8		13.8	
備蓄米						
飼料用米	1.9		2.7		2.7	
米粉用米						
新市場開拓用米						
WCS用稲						
加工用米						
麦						
大豆						
飼料作物						
・子実用とうもろこし						
そば						
なたね						
地力増進作物						
高収益作物						
・野菜						
・花き・花木						
・果樹						
・その他の高収益作物						
その他						
・〇〇						
畑地化	0		0		0	

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	飼料用米	飼料用米作付助成	1. 作付面積 2. 単収	(令和4年度) 1.9ha (令和4年度) 511kg/10a	(令和5年度) 2.7ha (令和5年度) 494kg/10a

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:北海道

協議会名:古平町

整理番号	用途 ※1	作期等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	飼料用米作付助成	1	3,814	飼料用米	温湯種子消毒の実施

8 産地交付金の活用方法の明細

1. 地域農業再生協議会名

古平町

2. 活用予定額の総括表

(単位:円)

協議会等名	配分枠 (A+B)		活用予定額
	当初配分 (A)	追加配分 (B)	
古平町	103,000	0	102,978

4. 追加配分等を受けた場合の調整方法

個票1番に充当する。なお、調整後の単価は円単位とし、小数点以下は切り捨てとする。

調整後単価＝(当初配分額＋追加配分額(留保分))÷所要額×助成単価

5. 所要額が配分枠を超過した場合の調整方法

超過する場合は、配分額内に収まるように割り返して単価調整する。
なお、調整後の単価は円単位とし、小数点以下は切り捨てとする。

調整後単価＝配分額÷所要額×助成単価

6. 高収益作物について

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	古平町			整理番号	1	
使途名	飼料用米作付助成					
対象作物	飼料用米					
単 価	3,814円/10a（上限単価 6,900円/10a）					
課 題	主食用米の需給が今後不透明な中、需給バランスを維持していくためには非主食用米への転作が必要不可欠である。一方で古平町における飼料用米の作付面積が少なく出荷数量が少ないことから、取引価格が不利になっており、これらのことから、単収の向上とコストの削減が課題となっている。そのため基本技術を励行することにより収量を向上させ、生産費などコストを抑える取組や省力化を図りつつ、作付面積の拡大を図る。					
目 標			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	作付面積 単収	目標	2.5ha 485kg/10a	2.5ha 488kg/10a	2.6ha 491kg/10a	2.7ha 494kg/10a
		実績	1.6ha 482kg/10a	1.8ha 483kg/10a	1.9ha 511kg/11a	—
内 容	飼料用米の作付に加え、収量向上の取組や省力化の取組を行った場合に対して助成する。					
具体的要件	<p>生産性向上及び品質向上のため、次の取組のうち、2つ以上の取組を実施した飼料用米の作付に対して助成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 温湯種子消毒の実施 2 土壌診断結果に基づく施肥 3 ケイ酸資材の活用 4 効果的な防除対策 病害虫発生予察に基づき適期防除の実施 5 効率的な出荷への取組 作業省力化のためフレコン・バラ等による出荷を行う 6 作付規模の拡大 水稻の多収性品種作付面積が前年産を上回ること 7 明暗渠排水の整備、心土破碎、穿孔排水による透・排水性の改善 					
取組の 確認方法	助成対象者・助成対象水田・助成対象面積・助成対象作物： 交付申請書・現地確認、出荷入荷記録表、販売・購入記録表、生産履歴、作業日誌、現地確認					
成果等の 確認方法	令和5年12月末までに、交付申請書、営農計画書、現地確認、水稻共済細目書、出荷票等で作付面積及び単収を確認する。					
備考						